

イ 事業者向け温室効果ガス見える化事業の進捗について

(1) 実施概要

- ・ 目的 : 市域全体で全体排出量のうち49%を占める「産業部門」における各事業者の温出効果ガスの実態を把握する。
- ・ 対象 : 市内事業者 工業クラブ 26社
- ・ 訪問期間 : 令和5年8月～
- ・ 訪問企業数 : 24社 (令和5年10月末現在)
- ・ データ提供期間: 令和5年10月～
- ・ 協力可能企業: 22社
- ・ 協力依頼内容 (概要)

市内の温室効果ガス排出量推計値の49%を占める産業部門の実態や傾向を押さえ、今後の施策検討に活用したい。

現在国が公表している推計値は按分計算のため各企業の削減努力が反映されず、市町村別に按分されて統計の数字として下りてくるのも2年遅れで、精度やタイムリーなデータ活用に課題がある。

より実態に近い数字、傾向を把握するため、エネルギー使用量データの提供、又は協定先である㈱ゼロボードの温室効果ガス算定システムの導入について協力・検討頂きたい。

システムを導入される場合は、導入促進のため今年度の利用料は市が負担する。

省エネ診断の受診も、今年度は市が受診料を負担する事業を行っている。

診断士がすぐに取り組む事ができる運用上の提案や、設備更新をする際に高効率機器の検討を提案するもので、まずはお金をかけずに取り組む事ができる部分から、と言うきっかけに活用頂きたい。